

女子美術 徳の花会

No.
12

学校法人女子美術大学教職員退職者の会

女子美術大学創立125周年号

1965(昭和40)年から2025(令和7)年
に至るまで60年間杉並キャンパス中庭で
女子美を先導し続けるサモトラケの二ヶ。

2024年度「総会」報告
同好会／会員の活動紹介
おせ／追悼

代表幹事挨拶

代表幹事 ヤマザキミノリ
(元ヒーリング表現領域 教授)

「女子美術大学を長年支えてこられた元教職員が大学を応援し、現教職員との交流を深めることを目的に発足する」と初代代表幹事の入江観先生が設立に当たって述べられています。背景には、当時の大村理事長(現名誉理事長)が抱いていた「オール女子美で大学を支援したい」という強い構想がありました。

(2頁につづく)

会則には、退職教職員相互の交流と親睦を図ること、女子美術大学の生徒・学生・卒業生が行う研究・制作に対する支援に関することを目的とすると明記されています。

これまで徳の花会では、毎年、作品展や見学会、同好会や懇親会などを定期的に開催してまいりました。加えて年に一度の会報誌発行やFacebookを通じて情報発信などを通して、会員の皆様の研究や活動の成果を共有し、親睦を深めて来ています。さらに個々の会員の先生方が学生や卒業生の研究・展示を支援されている事例を伺い、相互に感銘を受けているところでございます。

特に、女子美祭開催時の作品展や6月の総会後に開催される懇親会では、現教職員の皆様との交流を通して、付属高中の躍進や大学改革の新しい方向性について直接お話を伺うことができます。これは、会員にとって大きなインセンティブの一つとなっています。

今後も徳の花会は、会員の皆様にとって楽しく、親しみやすく、かつ有益な、明るいコミュニケーションであり続けることを目指し、活動を継続してまいります。

「総会」報告

日程 2025年6月14日(土)13時
場所 杉並キャンパス6号館
2階 6203教室

開催方法 対面とオンラインの併用

次の内容が承認されました。

1. 2024年度事業報告

2. 2024年度収支報告・監査報告
3. 役員選出
4. 2025年度事業計画
5. 2025年度予算

役員紹介

総会で承認され、2025年度は左記の役員(合計12名)により運営されることになりました。

代表幹事	ヤマザキ ミノリ (芸術学部)
副代表幹事	小林 信恵 (短期大学部)
	白柳 弘美 (職員)
	山野 雅之 (芸術学部)
幹事	及川 玲奈 (芸術学部)
	佐藤 善一 (短期大学部)
	白幡 香織 (短期大学部)
	田村 俊明 (芸術学部)
	遠山 香苗 (付属高校・中学校)
	平戸 真児 (芸術学部)
監査	足立 尚子 (職員)
	加藤 寛治 (校友室長)

総会後「講演会」

時間 13時40分～14時20分
題目 ワインの楽しみ方(続々編)
イスパインとイタリアを試す

講師 徳の花会ワイン同好会
主宰 原 聖



講演会後「懇親茶話会」

時間 14時30分～16時

昨年に引き続き、「ワインの楽しみ方(続々編)」として、今回はスペインとイタリアのワイン、山羊のミルクで作ったチーズ(シェーブル・スプレッド等)、白カビチーズ(ルクロン等)とお料理をいただきました。理事長、学長、付属校長からは、女子美の現状をお話いただきました。教職員も交えて賑やかな会でした。

イベント報告

2024年(令和6年)

ワイン同好会報告

日程 8月20日(火)

甲府駅で待ち合わせて、勝沼ぶどう郷駅までJRに乗り、勝沼のぶどう郷を一望できるぶどうの丘へタクシーで行きました。そこから個人経営のワイナリーとして有名なグレイスワインヘタクシーで移動しました。2000～3000円とけっこう高額だがテイスティングを数回楽しめました。また責任者にも会うことができ、100年の歴史とその苦労を聞きました。甲府に戻り、夜はトラットリア・パキノというイタリアンで夕食を取りました。ここでも山梨のワインを置いていて、それも楽しめました。宿の「城のホテル」のロビーには甲府のワインのテイスティング場があり、1杯五百円で味わうこ

とことができました。翌日は、女子美との共作の実績がある甲府印傳屋のショップにより、山梨県立美術館で開催中の女子美同窓会山梨支部展を観て解散しました。



江戸文化巡り同好会

日程 11月16日(土)

去年の11月に第一回「お江戸日本橋界限」を実施しました。

三越地下コンコースの「歴代勝覧(江戸の日本橋界限の繁栄を描いた絵巻)」に始まり、地上の現代の日本橋や諸記念碑、老舗店舗、コレド室町、日本銀行から貨幣博物館で新札情報や特別展「江戸時代の商業」を拝見しました。

見学会と忘年会

日程 12月12日(木)
場所 東京ステーションギャラリー
皇居三の丸尚蔵館
ブラッスリーオザミ(忘年会)

「Terence Conran Making Modern Britain」展
東京駅直結のギャラリーに展開され

た最先端のライフスタイルも今は懐かしさを感じるモダンデザイン。旧駅のブリック壁と改札ドームも英国風に感じられました。

「皇室の美術振興」

日本画や書の皇室コレクションを間近で拝見することができました。

見学後の忘年会ではフランスビストロ料理とワインを味わいました。



イベント計画

2025年(令和7年)

秋の懇親会

日程 10月26日(日)13時～16時
場所 相模原キャンパス10号館
3階 1035C教室

※今回は「喫茶室」のような雰囲気です。入退場自由です。女子美祭見学の合間に作品展を観覧と共にお気軽にお立ち寄りください。(無料)

春の食事会

日程 2026年3月18日(水)

場所 Sakura
集合 18時「Sakura」
六本木駅徒歩1分

募集人数 20名

会費 8000円(予定)

申込締切 2026年3月5日(日)

Sakuraはカジュアルな創作イタリアン・レストランですが、大手のワインショップ「ソムリエ」が経営し、ワイン、チーズ、パンの売店が併設されています。

会員の活動紹介

小林(旧姓 堀内) ゆりか
(元工芸学科染コース助手)

大学院美術専攻修了1年後から3年間、専任助手を務めさせていただき、立場が変わった環境でも学び多き日々でした。在職中は制作時間が確保できず、退職後ようやく！と思いきや、専門技



西の市と薦重を巡る

今年度の徳の花会の忘年会は、「江戸文化巡り同好会」と合同の催しとなりました。NHK大河ドラマ「べらぼう」の主人公「薦屋重三郎」の活躍した吉原から浅草界隈を巡り、創業二百年近い老舗の雷門「天ぶらの『三定』」で宴会を計画しました。皆様、奮って御参加ください。(申込みは別紙にて)

参加 11月24日(月)祝 13時
無料 「入谷駅 出口①」集合

鷺神社、西の市(お多福と熊手)
吉原神社、吉原中央通り(耕書堂跡)
見返り柳(桜鍋の中江)
山谷堀(緑道公園)
薦重の墓(正法寺)
旧猿若町(旧歌舞伎三座)
16時 浅草寺
「べらぼう展」(都立産業会館 9F、800円/人)
浅草寺周辺散策
18時 雷門 脇「三定(さんさだ)」(予算 8,000円/人ほど)

日本最古の天ぷら屋で
ちょっと早い忘年会!



左: 江戸高名会亭 尽 右: 嘉永年間女郎の風俗(風俗三十二相) | 国立国会図書館デジタルコレクション



法シルクスクリーンプリントは制作環境の壁が!シルクを続けたい者の悩みの一つです。退職後は山梨へ戻って中学・高校で美術非常勤講師をし、夏季休暇は製版のため関東へ出向き持ち帰った版で制作。現在は実家の蔵を改造する手作り制作場所の確保を検討中です。恩師である柚木沙弥郎先生が在学・在職中に「あなたは山梨を大切に、地元でも作品発表したらいいよ。」と仰って下さいました。その後もお会いできました。先生からのお言葉通り、毎年欠かさず同窓会山梨支部「夢・色・形展」で作品発表を続けています。

大学行事のお知らせ

2025年(令和7年)

■10月24日(金)～10月26日(日)

女子美祭(杉並、相模原両キャンパス)

2026年(令和8年)

■2月20日(金)～3月1日(日) ※2/24休館
東京五美術大学連合卒業・修了制作展
(国立新美術館)

■3月1日(日)～3月5日(木) ※3/2休館
JOSHIBION(東京都美術館)

■3月7日(土)～3月9日(日)

学部・短大卒業制作展/修了制作展
(杉並、相模原両キャンパス)

■3月10日(火)

学位・修了証書授与式
(午前杉並、午後相模原)

※詳細は本学HPをご確認ください。

追悼

謹んでご冥福をお祈りいたします。

名誉教授 金山 桂子先生

2024年10月17日逝去、91歳。

1967(昭和42)年～1999(平成11)年
短期大学部別科(絵画)

大学院特任教授 藤田 昭子先生

2024年12月5日逝去、90歳。

1998(平成10)年～2004(平成16)年
大学院美術研究科美術専攻陶造形研究領域

名誉教授 子安 三喜男先生

2025年2月20日逝去、91歳。

1960(昭和35)年～1999(平成11)年

芸術学部芸術学科

女子美術大学創立125周年記念関連情報

2025年10月、女子美術大学は創立125周年を迎えます。

本学園は「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」を目指して、美術教育を行う学校として1900年に創立しました。以後、今日までの125年にわたる長い歴史の間に、画壇・デザイン界をはじめ、教育界などあらゆる分野に優れた人材を輩出するとともに、社会で自立できる女性たちを送り出してきました。現代においても、知性と感性と技術を併せもち、美術の専門を活かして社会的、経済的に自立できる人材の育成を行っています。

創立125周年「記念式典」

※学内関係者および招待者

日程 2025年10月30日(木)

会場 スパイラルホール | 東京 青山 表参道



125周年「記念事業募金」

創立125周年記念事業では「教育環境の充実」、「キャンパス整備」、「付属高等学校の教育支援・設備の充実」等をはかるべく、頂戴する募金はこれらの実施に充てさせていただきます。創立125周年記念事業の推進にご協力賜りますようお願いいたします。

税制上の
優遇措置



クレジットカード決済
による寄付の申込み



創立125周年「記念展」

ーこの世界に生きることー

会期 2025年10月29日(水)～11月3日(日)・祝

11時～20時(最終日終了時間未定)

会場 スパイラルガーデン | 東京 青山 表参道

女子美術大学出身の現代アーティスト3組4名による展覧会、ならびに女子美術大学出身の現役活動者38組39名を紹介する写真・映像の展示を行います。女子美術大学の建学の精神に立ち返り、今日のジェンダーのあり方はもちろん、社会や日常にあるさまざまな問題に対し、批評的かつ創造的に問いかけ向き合います。

ー教え生まれてきた才能たちー(明治から令和へ)

会期 2025年12月3日(水)～12月8日(日)

10時～19時(最終日17時まで)

会場 日本橋三越本店アートギャラリー | 東京



創立125周年記念ロゴ コンセプト

2000年の女子美術大学創立100周年に誕生した記念のシンボル、ニケマーク。110周年、120周年と引き継がれたシンボルは125周年を節目にあらたに生まれ変わります。原点に立ちかえることでさらにシンボリックなデザインに。サモトラケのニケ像が台座に立つ本来の姿は、125周年を迎える女子美の先導者となります。

事務局からのお願い

徳の花会の会報は、徳の花会会員(女子美術大学教職員退職者)の皆様にお送りしておりますが、住所不明でお届けできない方もいらっしゃると思います。本会報が届いていない会員の方をご存じでしたら、ご本人から徳の花会事務局までご連絡をいただけるようお願いいたします。また、現在は電子メールでの情報配信も行っています。メールアドレスをお持ちの方は、徳の花会事務局のメールアドレス宛にお名前(旧姓含む)、ご住所、在職中の所属をお送りください。

WEBサイト・Facebook関連情報

WEBサイト

徳の花会の「お知らせ」や「会報誌のバックナンバー」なども掲載。



Facebookページ

徳の花会の「最新情報などのお知らせ」を掲載。



Facebookグループ

フォローいただくと展示のお知らせなどだけでなく書き込みが可能。メンバー同志の交流に。





042-778-6637

送信面

郵送

E-Mail

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台 1900
女子美術大学 校友室(徳の花会事務局)宛

tokunohanakai@venus.joshibi.jp

徳の花会作品展エントリーシート

提出期限

9/19金

カテゴリーに「○」または「レ」をつけてください。その他の場合はカテゴリーをご記入ください。

カテゴリー	☐ 平面(絵画・版画等) ☐ 立体 ☐ 書籍 ☐ その他()		
出品数		展示台	☐ 必要 ☐ 不要
サイズ	号数 H 高さ×W 幅×D 奥行cm 重量kg		
搬入	☐ レターパックプラス(原則) ☐ 本人(代理人)直接搬入 ☐ 宅配便 [業者名・TEL]	陳列	☐ 本人(代理人) ☐ 徳の花会
撤去	☐ 本人(代理人) ☐ 徳の花会	搬出	☐ レターパックプラス(原則) ☐ 本人(代理人)直接搬出 ☐ 宅配便 [業者名・TEL]

イベント申込み

参加に チェック	☐ 徳の花会作品展(作品展示・販売、書籍販売)	締切	9/19金	
	☐ 秋の親睦会(無料)	締切	10/17金	
	※締切はお越しいただく皆さんの概数を把握するものです。			
	☐ 見学会「酉の市と蔦重を巡る」と「ちょっと早い忘年会」	締切	10/20月	
※見学ルートの詳細は3頁をご覧ください。				
☐ 春の食事会「Sakura」(創作イタリアン)	締切	2026/3/5木		
氏名	フリガナ 漢字			
住所	〒			
TEL		FAX		
E-mail				